

会

報

社団法人 日本病理学会  
 〒 113-0033  
 東京都文京区本郷 2-40-9  
 ニュー赤門ビル 4F  
 TEL: 03-5684-6886  
 FAX: 03-5684-6936  
 E-mail jsp-admin@umin.ac.jp  
 http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 233 号

平成 19 年 (2007 年) 6 月刊

## 1. 臨時総会

平成 19 年 5 月 22 日に東京・学士会分館にて臨時総会が開催され、また臨時総会に先立ち、持ち回りにて理事会が開催された。臨時総会では、理事長報告および病理科標榜や病理施設開設等についても意見交換がおこなわれた。

協議事項として、臨時総会において平成 18 年度事業報告ならびに平成 18 年度収支決算報告が、それぞれ理事会承認の原案どおり決定した。

## 2. 理事長報告

- 5 月 11 日開催された厚生労働省「診療行為に関連した死亡の死因究明等のあり方に関する課題と検討の方向性」を病理学会として傍聴した。
- 5 月 21 日に開催された医道審議会医道分科会診療科名標榜部会にて厚生労働省から診療科名の整理に関する“案”が示された。整理された基礎診療科目 26 種の中に病理診断科(臨床検査科)が新規に提案されている。
- 「診療行為に関連した死亡の死因究明等のあり方に関する課題と検討の方向性」についての厚生労働省のパブリックコメント募集に対し、意見を提出した(病理学会ホームページに掲載)。これに関連して、第 3 回死因究明制度等に関する検討会(6 月 8 日)には深山副理事長が出席することになっている。
- モデル事業運営委員会(4 月 18 日)および説明会(4 月 23 日)に出席した黒田理事より、現在 51 体が解剖されているとの報告があった。また、モデル事業運営委員会内に、1. の死因究明制度等に関する検討会と整合性をもたせるためのワーキンググループが設置されるとのことで、深山副理事長が委員として加わ

ることになった。

- 診療報酬については、内保連へ改定要望事項の提出をおこなった。稲山社会保険小委員会委員長より、今後の活動方針について報告があった。ワンデイパソロジーについて検討を始めており、これについてのアンケートを研修施設に対しておこなっている。
- 4 月 16 日、長村理事長が加藤雅志担当官(厚生労働省がん対策推進室)と面談をおこなった。バーチャルスコープの今後の活用について相談を受けている。
- 2014 年に向けて WHO ICD11 を策定中であるがこれに病理学会からも委員を出せるよう口頭で担当官に要望している。
- 国際交流委員会では、英国病理学会との交流については、日英で交互にシンポジウムを開催すること、同時に若手会員を派遣することなどが話し合われている。若手の派遣費用については、現在の国際交流事業の予算を使えるのではないかと考えている。
- 教育委員会ワークショップは、9 月 23 日(日)藤田保健衛生大学にて、テーマは「特色ある病理学教育について」を予定している。
- ホームページ運営アシスタントの選定について広報委員会より資料が提出され、委員会より推薦のあった「香取ゆき氏」に 5 月から依頼することとした。
- 3 月 15 日に開催の若手医師確保のための小委員会の報告があった。7 月 15 日(東京ビッグサイト)のレジナビフェア参加に関連してパンフレットの作成をおこなう準備をしているとのことである。
- 第 1 回診断病理サマーフェストの受講希望者へ、案内文や地図等を送付することになっている。現在までに 138 名の応募がある。第 2 回(平成 20 年)は「肺」をテーマに天理よろず相談所病院の小橋陽一郎先生

日本病理剖検輯報への新規登載の希望がございましたら、7 月 10 日までに事務局宛ご連絡ください。日本病理学会病理専門医研修認定施設および研修登録施設の認可には、登載されていることが条件となっております。

社団法人日本病理学会事務局 TEL: 03-5684-6886

FAX: 03-5684-6936

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

にモデレータを依頼し、京都での開催を予定している。

13. 100周年記念事業については、準備会を6月ごろ開催の予定である。
14. 3月13日開催のプログラム推進委員会(青笹委員長)の報告があり、病理学会や関連研究会等がおこなっているセミナー等のリストを作成するべきとの提案があったので、事務局で対応することとした(専門医更新のクレジットを与えている会など)。
 

平成20年度の春の学術集会時の病理診断講習会のスケジュール案が、病理診断講習会委員会清水道生委員長より提案され、これを了承した。今後は病理診断講習会委員会の委員構成についても検討する必要があるとの意見が出されている。

春の病理診断講習会とIAPセミナーとの整合性等、今後の検討課題である。
15. 宿題報告候補は今年から他薦も可とすることから、応募のフォームを改訂し、7月会報に掲載するよう検討を始めた。
16. 病理学会カンファレンスは5回(平成20年)までは開催し、その後の開催は検討課題としている。
17. 今年度の専門医認定試験は、7月28日(土)・29日(日)に東京医科歯科大学にて行われる。これに関連して資格審査委員会と病理専門医制度運営委員会は5月15日(火)に開催され、合否判定の運営委員会は7月31日(火)に開催されることになっている。
18. 理事、理事長選挙については、選挙管理委員会を立ち上げた。

### 3. 平成18年度事業報告ならびに決算報告

平成18年度事業報告ならびに収支決算報告が以下のとおり承認された。

#### (1) 平成18年度事業報告

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

#### I. 学術集会、研究会等の開催

##### 1. 学術集会の開催

- (1) 「第95回日本病理学会総会」(於東京都・坂本穆彦会長)を開催
- (2) 「第52回日本病理学会秋期特別総会」(於和歌山市・覚道健一代表世話人)を開催

##### 2. 研究会、講習会等の開催

- (1) 「第4回日本病理学会カンファレンス(2006東京)」を実施
- (2) 細胞診講習会(於東京都)を実施
- (3) 病理診断講習会(於東京都)を実施
- (4) 病理技術講習会(於和歌山市)を実施
- (5) 各支部会における「学術・研修集会」等を実施

#### 施

#### 3. 市民公開フォーラム(於和歌山市)を開催

#### II. 学会誌、学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」(第95巻第1~2号)を発行
2. 「Pathology International」(第56巻第4~12号, 第57巻第1~3号)を発行
3. 「診断病理」(第23巻第2~4号, 第24巻第1号)を発行
4. 「日本病理学会会報」(第219号~230号)を発行
5. 「病理専門医部会報」(2006年第2~4号, 2007年第1号)を発行

#### III. 研究および調査

1. 「日本病理剖検輯報」第47輯(平成16年症例)を発行
2. 剖検輯報編集方法を変更・充実
3. 剖検記録データベースを再構築

#### IV. 病理専門医等の資格認定

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験(於東京都)を実施
2. 病理専門医を広告
3. 「病理専門医研修手帳」の策定
4. 研修施設を認定

#### V. 学術団体との協力、連絡

1. 他学会との会議共催および後援(国内)を多数実施
2. 腫瘍取扱い規約の改訂を検討(卵巣腫瘍 脳腫瘍)
3. 海外病理学会との交流
  - (1) 英国病理学会との会員の相互派遣、学術交流を実施
  - (2) ドイツ病理学会との学術交流を実施

#### VI. その他目的を達成するために必要な事業

1. 日本病理学会学術奨励賞を5名に授与
2. 海外病理学会への参加支援
3. 若手病理医育成のためのワークショップ(於東京都)を実施
4. 病理診断コンサルテーションシステムを充実
5. インターネットホームページを充実
6. 医師賠償責任保険加入取扱いを実施
7. 病理専門医制度運営、口腔病理専門医制度運営、医療業務等の各種委員会を開催

## (2) 平成 18 年度収支決算報告

## 1) 収支計算書

平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>I. 収入の部</b>			
<b>1. 基本財産運用収入</b>	<b>1,000</b>	<b>17,389</b>	<b>16,389</b>
受取利息収入	1,000	17,389	16,389
<b>2. 会費収入</b>	<b>73,280,000</b>	<b>80,080,000</b>	<b>6,800,000</b>
正会員・学術評議員会費	29,000,000	35,198,000	6,198,000
同終身会費	2,000,000	3,600,000	1,600,000
同一般会員会費	30,000,000	26,696,000	△ 3,304,000
学生会員会費	30,000	15,000	△ 15,000
賛助会員会費	350,000	250,000	△ 100,000
機関会員会費	500,000	425,000	△ 75,000
病理専門医部会員会費	11,400,000	13,896,000	2,496,000
<b>3. 事業収入</b>	<b>105,000,000</b>	<b>139,695,619</b>	<b>34,695,619</b>
学術集会収入	65,000,000	93,637,878	28,637,878
論文掲載料収入	3,000,000	947,407	△ 2,052,593
広告料収入	1,500,000	692,700	△ 807,300
刊行物発行収入	14,000,000	16,220,400	2,220,400
専門医制度収入	14,000,000	21,160,500	7,160,500
病理専門医部会収入	4,000,000	4,712,377	712,377
講習会等収入	2,000,000	158,000	△ 1,842,000
賠償責任保険事務費収入	1,500,000	2,166,357	666,357
<b>4. 補助金収入</b>	<b>11,000,000</b>	<b>11,000,000</b>	<b>0</b>
学術振興会科学研究費	10,800,000	10,800,000	0
日本医学会補助金	200,000	200,000	0
<b>5. 繰入金収入</b>	<b>1,910,000</b>	<b>1,870,000</b>	<b>△ 40,000</b>
学術医療基金繰入金収入	1,910,000	1,870,000	△ 40,000
<b>6. 雑収入</b>	<b>705,000</b>	<b>858,029</b>	<b>153,029</b>
受取利息収入	5,000	121,306	116,306
雑収入	700,000	736,723	36,723
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>191,896,000</b>	<b>233,521,037</b>	<b>41,625,037</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>40,483,000</b>	<b>45,813,526</b>	<b>5,330,526</b>
<b>収入合計 (B)</b>	<b>232,379,000</b>	<b>279,334,563</b>	<b>46,955,563</b>

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>II. 支出の部</b>			
<b>1. 事業支出</b>	<b>154,450,000</b>	<b>182,058,085</b>	<b>27,608,085</b>
学術集会経費	66,800,000	95,461,453	28,661,453
学会誌発行経費	35,000,000	34,432,008	△ 567,992
会報発行経費	3,300,000	2,817,150	△ 482,850
剖検輯報刊行経費	17,000,000	14,595,048	△ 2,404,952
専門医制度運営経費	9,300,000	12,672,729	3,372,729
病理専門医部会経費	10,000,000	7,115,968	△ 2,884,032
支部運営経費	3,350,000	5,850,000	2,500,000
学術奨励等経費	3,000,000	5,715,626	2,715,626
講習会等経費	4,200,000	635,450	△ 3,564,550

各種委員会経費	2,500,000	2,762,653	262,653
<b>2. 管理費</b>	<b>32,320,000</b>	<b>30,444,115</b>	<b>△ 1,875,885</b>
人件費	15,700,000	14,511,270	△ 1,188,730
福利厚生費	1,650,000	1,933,976	283,976
交通費	700,000	338,760	△ 361,240
通信運搬費	2,200,000	2,266,505	66,505
会議費	1,500,000	909,643	△ 590,357
印刷費	2,000,000	1,981,249	△ 18,751
備品費	200,000	0	△ 200,000
消耗品費	300,000	385,246	85,246
光熱費	230,000	221,096	△ 8,904
賃借料	2,600,000	2,670,056	70,056
諸会費	950,000	850,000	△ 100,000
補助金	200,000	200,000	0
修繕費	100,000	0	△ 100,000
嘱託料	1,490,000	1,459,500	△ 30,500
租税公課 (消費税等)	2,000,000	2,228,000	228,000
雑費	500,000	488,814	△ 11,186
<b>3. その他</b>	<b>3,300,000</b>	<b>4,806,743</b>	<b>1,506,743</b>
退職給与引当預金支出	1,500,000	1,500,000	0
学術医療基金引当預金繰入支出他	1,800,000	3,306,743	1,506,743
<b>4. 予備費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,000,000</b>
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>191,070,000</b>	<b>217,308,943</b>	<b>26,238,943</b>
<b>当期収支差額 (A-C)</b>	<b>826,000</b>	<b>16,212,094</b>	<b>15,386,094</b>
<b>次期繰越収支差額 (B-C)</b>	<b>41,309,000</b>	<b>62,025,620</b>	<b>20,716,620</b>

## 2) 正味財産増減計算書

平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科目	金額		
<b>I. 増加の部</b>			
1. 資産増加額			
当期収支差額	16,212,094		
退職給与引当預金積立金額	1,500,000		
学術医療基金引当預金積立額	1,425,292		
国際交流基金引当預金積立額	11,451	19,148,837	
<b>増加額合計</b>			<b>19,148,837</b>
<b>II. 減少の部</b>			
1. 資産減少額			0
2. 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	1,500,000	1,500,000	
<b>減少額合計</b>			<b>1,500,000</b>
当期正味財産増加額			17,648,837
前期繰越正味財産額			212,885,151
<b>期末正味財産合計額</b>			<b>230,533,988</b>

## 3) 貸借対照表

平成 19 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	95,301,936		
前 払 金	1,161,810		
立 替 金	1,270,000		
未 収 金	1,308,442		
流動資産合計		99,042,188	
2. 固定資産			
基本財産	30,000,000		
その他の固定資産			
特別財産	137,493,411		
保 証 金	930,000		
退職給与引当預金	12,700,000		
什器備品	84,957		
その他の固定資産合計	151,208,368		
固定資産合計		181,208,368	
<b>資産合計</b>			<b>280,250,556</b>
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	21,671,000		
未払金	15,090,835		
預り金	254,733		
流動負債合計		37,016,568	
2. 固定負債			
退職給与引当金	12,700,000		
固定負債合計		12,700,000	
<b>負債合計</b>			<b>49,716,568</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
<b>正味財産</b>			<b>230,533,988</b>
(うち基本金)			(30,000,000)
(うち正味財産当期増加額)			(17,648,837)
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>280,250,556</b>

## 4) 財産目録

平成 19 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現 金 現金手許有高	166,257		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	92,898,153		
普通預金	19,089		
三菱東京 UFJ 銀行本郷支店			
定期預金 みずほ銀行本郷支店	27,137		
郵便振替貯金	2,191,300		
現金預金合計	95,301,936		
(2) 前払金			

家賃	195,300		
総会開催経費等	966,510		
前払金合計	1,161,810		
(3) 未収金			
学会誌発行収入等	1,308,442		
(4) 立替金			
P.I. カラー頁印刷費	1,270,000		
流動資産合計		99,042,188	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	30,000,000		
三菱東京 UFJ 銀行本郷支店			
(2) その他の固定資産			
① 特別財産			
学術医療基金引当預金	117,440,774		
(普通・三菱東京 UFJ 銀行			
春日支店)			
国際交流基金引当預金	20,052,637		
(普通・りそな銀行本郷支店)			
特別財産合計	137,493,411		
② 保証金	930,000		
③ 退職給与引当預金	12,700,000		
④ 什器備品	84,957		
その他の固定資産合計	151,208,368		
固定資産合計		181,208,368	
<b>資産合計</b>			<b>280,250,556</b>

科 目	金 額		
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
(1) 前受金			
平成 19 年度会費・部会費等	21,671,000		
(2) 未払金			
英文誌印刷費等	11,548,595		
日病会誌印刷費・発送手数料	2,017,550		
会報印刷費	361,200		
「診断病理」発送費	263,490		
未払消費税	900,000		
未払金合計	15,090,835		
(3) 預り金			
源泉所得税等	254,733		
流動負債合計		37,016,568	
2. 固定負債			
(1) 退職給与引当金	12,700,000		
固定負債合計		12,700,000	
<b>負債合計</b>			<b>49,716,568</b>
<b>正味財産</b>			<b>230,533,988</b>

## お知らせ

### 1. 平成19年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究助成費」候補の推薦について

申込み締切り：平成19年7月5日

連絡先：日本医師会生涯教育課

〒113-8621 文京区本駒込2-28-16

TEL：03-3946-2121

### 2. 第32回組織細胞化学講習会について

日時：平成19年8月7日（金）～9日（木）

会場：京都芸術劇場 春秋座（京都造形芸術大学内）

連絡先：第32回組織細胞化学講習会実行委員会事務局

〒602-8566 京都市上京区河原町広小路上ル  
梶井町465

京都府立医科大学大学院医学研  
究科解剖学・生体構造科学部門

TEL：075-251-5301 FAX：075-251-5306

E-mail：info\_32kjshc@nacos.com

### 3. 「医療安全教育セミナー2007 夏季」－病院システムの安全向上について

日時：平成19年8月5日（日）～10日（金）

会場：東京大学医学部本郷キャンパス

申し込み締切り：平成19年7月20日

ホームページ：<http://www.jsrmpm.org/PatSafe2007/>

### 4. 第6回皮膚病理診断研究会・第3回皮膚病理診断講習会－汗腺系腫瘍－について

日時：2007年11月10日（土）～11日（日）

会場：東京医科大学病院教育棟5階講堂・東京医科大学中央校舎3階組織実習室

連絡先：皮膚病理診断研究会事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

東京医科大学病理診断学講座内

TEL：03-3342-6111（内3524）

FAX：03-3342-2062

E-mail：byoushin@tokyo-med.ac.jp

正 会 員 各 位

平成 19 年 6 月 20 日  
理 事 長 長 村 義 之  
選挙管理委員長 森 茂 郎

## 社団法人日本病理学会役員選挙について（公示）

平成 20 年度/21 年度役員改選につきお知らせいたします。

本学会の現役員は、今年度末をもって任期満了となります。新役員は、「本学会定款ならびに役員選挙関係諸規定」に従い、正会員の選挙（郵送による投票）によって選出の上、理事 19 名（地方区選出理事 7 名，全国区選出理事 12 名〔口腔病理部会長 1 名を含む〕），監事 2 名が総会で選任されます。

次期役員（平成 20 年度/21 年度の理事・監事）選挙を以下の要領で行います。

### 記

#### ○選挙方式：

- (1) 役員（理事・監事）の選挙は、立候補の届出にもとづき被選挙人名簿が作成され、さらに立候補者のうち希望者は所信表明を発信できます。これをまとめ、一定の時期に会報，学会ホームページ等で掲載し，周知します。
- (2) 理事長の選出は，上記で選出された理事の中から正会員の投票によって行われます。理事長候補者（(1) で選出された理事）の所信表明については，役員選挙の場合と同様に希望者は発信できます。これをまとめ，一定の時期に会報，学会ホームページに掲載します。

○立候補者の選出区分：役員立候補者は，選出区分を明示して応募していただきます。なお，重複した区分に立候補する事はできません。

選出区分 1：地方区選出理事

選出区分 2：全国区選出理事

選出区分 3：口腔病理部会長兼務全国区選出理事（歯科医師免許所有者）

選出区分 4：監事

○被選挙資格者：役員は「就任時の年齢が満 63 歳以下の正会員」と規定されています。今回は 昭和 19 年 4 月 2 日以降に生まれた正会員が被選挙人資格者となります。

○役員立候補者募集要領:

1. 名簿登載: 立候補される方は、氏名、所属及び選出区分を明示した上で下段の書式に記載し、本学会事務局まで書留で郵送してください。
  - ・応募締め切り 理事: 7月17日(火)(当日消印有効)  
監事: 7月24日(火)(当日消印有効)
  - ・応募関係書類送り先: 日本病理学会事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9 ニュー赤門ビル 4F
2. 所信表明(希望者のみ): 400字以内の所信をe-mailにて事務局あてお送りください  
(文字数超過の場合は、超過分をカットします)。
  - ・応募締め切りは、7月31日(火)
  - ・所信表明送り先: E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

○選挙実施要領:

1. 役員(理事・監事)選挙:
  - ・被選挙人名簿, 投票用紙等を正会員に送付: 8月20日(月)予定
  - ・所信表明の掲載: 会報8月号, 学会ホームページ
  - ・投票締め切り: 9月10日(月)(当日消印有効)
2. 理事長選挙:
  - ・理事長候補者名簿, 投票用紙, 所信表明(希望者のみ)を正会員へ送付: 10月10日(水)予定
  - ・所信表明の掲載: 会報10月号, 学会ホームページ
  - ・投票締め切り: 10月31日(水)(当日消印有効)

---

社団法人日本病理学会役員立候補届

社団法人日本病理学会平成20年度/21年度役員選挙に立候補いたします。

会員名: \_\_\_\_\_ (会員番号 \_\_\_\_\_)

所 属: \_\_\_\_\_  
(15字以内: 被選挙人名簿登載用)

区 分 (一つを選んでください)

選出区分1: 地方区選出理事

選出区分2: 全国区選出理事

選出区分3: 口腔病理部会長兼務全国区選出理事(歯科医師免許所有者)

選出区分4: 監事

平成19年 月 日

社団法人日本病理学会正会員

署 名 \_\_\_\_\_

2007 年度  
病理学教育セミナーのお知らせ  
IAP 日本支部主催，日本病理学会後援

日 時：平成 19 年 12 月 8 日（土）9:00～17:30  
場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木）

教育シンポジウム 9:00～12:00

主題：炎症性皮膚疾患：臨床医が求める病理診断報告書

モデレーター：清水 道生（埼玉医科大学国際医療センター病理診断科）

1. 病理医が知っておかねばならない炎症性皮膚疾患の基礎知識  
大原 國章（虎の門病院皮膚科）
2. 炎症性皮膚疾患におけるパターン分類：病理報告書の実例を中心に  
木村 鉄宣（札幌皮膚病理研究所）
3. 病理診断が決めてとなる症例とピットフォール症例  
横山 繁生（大分大学医学部腫瘍病態制御講座）
4. 病理診断での判定困難症例：病理報告書における対応策  
桜井 孝規（埼玉医科大学国際医療センター病理診断科）
5. 臨床医が求める病理報告書とは：具体例を中心に  
石河 晃（慶應義塾大学医学部皮膚科）

◎当日はご自由にご参加下さい。（会場費 3,000 円，ハンドアウト代含む）その時に病理専門医の更新に必要な参加証をご用意いたします。5 単位が得られます。

スライドセミナー 13:15～17:30

1 時限目 13:15～15:15

- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| * A-1 悪性リンパ腫関連疾患 | 吉野 正（岡山大学大学院病理・病態学講座）      |
| B-1 皮膚付属器腫瘍      | 清水 道生（埼玉医科大学国際医療センター病理診断科） |
| C-1 腎・尿路病変の病理    | 金城 満（新日鐵八幡記念病院病理部）         |
| D-1 上部消化管の腫瘍性病変  | 二村 聡（福岡大学医学部病理学講座）         |

2 時限目 15:30～17:30

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| * A-2 甲状腺腫瘍，新 WHO 分類を中心として | 加藤 良平（山梨大学大学院人体病理学講座）  |
| B-2 軟部腫瘍                   | 橋本 洋（産業医科大学第一病理学講座）    |
| C-2 乳腺疾患の病理                | 秋山 太（財団法人癌研究会癌研究所病理部）  |
| D-2 非腫瘍性リンパ節病変             | 小島 勝（群馬県立がんセンター臨床検査病理） |

\* 印は新規のものです。新規 2 コースは，ガラス標本に変わり，バーチャルスライド（DVD）を送付予定です。

病理専門医の資格更新単位として 10 単位が得られます。

別添葉書にて申し込み下さい。定員超過コースは抽選となります。

受講料：1 コース IAP（国際病理アカデミー）日本支部会員 6,000 円，非会員 8,000 円です。

連絡先：IAP 日本支部教育委員長

〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5  
日本医科大学病理学講座  
（統御機構・腫瘍学）

内藤 善哉  
TEL 03 (3822) 2131 (内) 5232

IAP 日本支部事務局

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1  
日本大学医学部  
病態病理学系病理学分野

根本 則道  
TEL 03 (3972) 8111 (内) 2256